

1 組織

(1) 協議会名称

都立青梅総合高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）

(2) 事務局の構成

副校長、経営企画室長、事務局長（教務主任）、教務部員1名、計4名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、年次主任代表、自立支援担当
計8名

(4) 協議委員の構成

青梅市内中学校長、青梅市教育委員会代表、学識経験者、PTA会長、地域商工会議所代表、計5名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和5年6月1日（木）

- ・協議委員委嘱、委員紹介、学校経営計画、各分掌等の計画の説明
- ・本校の教育活動と各分掌からの本年度の計画報告。
- ・令和5年度東京都高等学校体育連盟主催定時制通信制春季大会報告
- ・青総祭（文化祭開催について）

第2回 令和5年11月16日（木）

- ・本校の教育活動及び生徒の状況について
- ・各分掌から中間報告
- ・学校評価アンケート検討
- ・終了後、給食試食会実施 委員より1名参加

第3回 令和6年2月8日（木）

- ・本校の教育活動及び生徒の状況について
- ・各分掌から中間報告
- ・学校評価アンケートの報告
- ・質疑応答

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和5年6月1日（木）

学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討

- ・学校評価アンケートの質問項目の検討
- ・フォームズを活用したアンケートの実施。地域アンケートは紙ベースとする。

第2回 令和5年11月16日（木）

- ・学校評価アンケートの分析・考察、課題の整理

第3回 令和6年2月8日（木）

- ・学校評価アンケートの報告

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（1）評価の観点

「学校の意欲」「学校の実践」「学校への理解」の観点で実施した。

（2）アンケートの実施時期、対象、規模（↑↓は昨年比）

・12月	全校生徒	対象：147人	回収：136人	回収率：92.5%↑
・12月	教職員	対象：26人	回収：26人	回収率：100.0%
・12月	保護者全員	対象：147人	回収：24人	回収率：16.3%↓
・12月	地域・住民	対象：30人	回収：8人	回収率：26.7%↓

（3）主な評価項目

- | | |
|---------------|----------------|
| ①学校に対する満足度 | ②学校生活への意欲 |
| ③学習環境 | ④授業満足度 |
| ⑤考えさせる授業の実践 | ⑥校則・マナーやルールの指導 |
| ⑦進路の実現に向けた指導 | ⑧教員に対する相談のしやすさ |
| ⑨ライフ・ワーク・バランス | ⑩地域から見た本校について |

（4）評価結果の概要・分析・考察（↑↓は昨年比）

①学校に対する満足度

- ・肯定的な評価 生徒75.0%↑ 保護者 91.6%↑
- ・あまり楽しいと感じていない生徒は、2・3年生が多い。
- ・本校の経験年数が少ない教員ほど、生徒は楽しそうでない、と感じている。

②学校生活への意欲

- ・肯定的な評価 生徒72.0%↓ 保護者79.2%↓
- ・生徒は、学校生活に対してやや消極的な生徒が増えている。
- ・保護者には、学校生活の様子が伝わっていないと思われる。

③学習環境

- ・肯定的な評価 生徒80.2%↑ 保護者87.5%↑
- ・本校の経験年数が1～3年目の教員が、環境づくりに課題を感じている。

④授業満足度

- ・肯定的な評価 生徒84.5%↓ 保護者83.3%↑
- ・生徒、保護者ともに授業に対して満足度が下がっている。
- ・若手教員が、授業研究できていないと感じている。

⑤考えさせる授業の実践

- ・肯定的な評価 生徒86.8%↑ 保護者79.2%↓
- ・全体的に、概ね肯定的である。

⑥校則・マナーやルールの指導

- ・肯定的な評価 生徒86.1%↓ 保護者83.3%↑

・校則やマナーの指導が浸透し、生徒の意識が高まっている。

⑦進路の実現に向けた指導

- ・肯定的な評価 生徒87.5%↑ 保護者79.2%↑
- ・若手教員から、進路について消極的的回答が出ている。

⑧教員に対する相談のしやすさ

- ・肯定的な評価 生徒78.0%↓ 保護者87.5%↑
- ・大局的には良い方法に向かっているが、相談する生徒としない生徒の二極化は避けたい。

⑨ライフ・ワーク・バランス

- ・保護者（働き方改革）80.8%↑ 教員（校内研修の充実）100% 教員（業務の効率化）84.7%↑
- ・業務効率については、昨年より良くないと感じている教員が増えた。

⑩地域の方から見た本校について

- ・三修制や生產品販売の認知 100%↑ SNSの認知 80.0%↑ 登下校のマナーは良い 100%↑
- ・HPやXが浸透してきた。
- ・来校したことがある人が、回答している。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・近隣の中学校や地域と、活発に情報交換ができ、今後の教育活動のヒントを沢山得ることができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・保護者に対する情報発信が、喫緊の課題である。
- ・勤務年数の少ない教員から、職場に対する意見を拾う必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

- ・デジタル化、ペーパーレスの推進と、情報収集の工夫。
- ・多様な生徒の活動を発信し、学校理解と生徒の意欲向上を目指す。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 5人

(2) 「学校がよくなった」と答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない	無回答
5						